

船舶事故等調査報告書

平成26年5月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第19号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成26年1月16日 11時30分ごろ
発生場所	岡山県玉野市日比港西方沖 日比港西4号防波堤灯台から真方位264° 1,500m付近 （概位 北緯34° 27.1′ 東経133° 54.8′）
事故等調査の経過	平成26年2月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 長運丸、331トン
船舶番号、船舶所有者等	130504、有限会社青崎海運
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船首部に凹損、左舷錨に欠損 岸壁 破損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、玉野市の「パンパシフィック・カッパー株式会社日比精錬所の岸壁」（以下「本件岸壁」という。）に着岸作業中、船長が、左舵を取って船首を立て直していたところ、潮流に圧流され、平成26年1月16日11時30分ごろ左舷船首部が本件岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.4m、潮流 東流約1～2ノット 備讃瀬戸における転流時刻：10時51分（西流から東流へ）
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、日比港西方沖の本件岸壁に着岸作業中、船長が左舵を取って船首を立て直していたところ、潮流に圧流されたことから、左舷船首部が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、日比港西方沖の本件岸壁に着岸作業中、潮流に圧流されたため、左舷船首部が本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・着岸する場合、風潮流の影響を考慮して操船すること。